

取組個票①5年間の取組全体概要

①取組名	取組07	医療・福祉・介護の先進的連携モデルの構築
②対応する目標・課題	超高齢化対応	
③対応する評価指標・目標値	■評価指標: 医療・福祉・介護の先進モデルの創出	■目標値: 気仙地域の医療・福祉・介護関係者による連携組織を設け、地域医療情報ネットワークをはじめ医療・介護・福祉の連携に係る先進的なモデルを構築する。
④取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療データベースを構築し、モデル運用を図る。 ・医療等専門職を誘致し、在宅診療など医療サービスの提供拡大を図る。 ・住民が医療・介護・福祉の基礎的知識と実践を体系的に学ぶ機会を設ける。 	
⑤エリア	気仙地域	
⑥主体	2市1町、地域医療・福祉関係事業者など	
⑦活用した国等の制度		
⑧地域の関与	検討中	
⑨スケジュール		
23年度	概念設計	
24年度	関係者連携組織の設立	
25年度	地域医療連携システム設計	
26年度	システム運用体制の整備、医療等専門職誘致計画の策定、住民介護力強化カリキュラムの作成	
27年度	システム構築・試験運用、専門職の誘致活動、カリキュラムの試行・検証	
28年度	システム稼働、誘致専門職による地域医療活動、カリキュラムの本格実施	
29年度以降		
⑩他の取組との連携	<p>取組名: コンパクトシティの整備 連携内容: 高齢者の生活拠点に医療施設、福祉施設、雇用拠点、コミュニティ拠点、商業施設、住居をスムーズに移動できるような、まちの設計と移動手段について連携して検討する。</p>	
⑪自立・自律の方針・目標	<p>当地域は、岩手県の支援により、は地域内で自立できる高度な医療インフラを保有している。また、高齢者福祉においても、先進的な取組を行ってきている民間事業者が多数存在している。こうしたことから、医療・介護・福祉の先進的モデルは、主に、地域医療福祉拠点のネットワーク化と連携、そのための規制緩和、ICTインフラの構築といった、主にソフト面について検討し構築することになる。こうしたソフト的なインフラは、地域の医療福祉施設の運営コストを下げるとともに、医療費・福祉関連費用の全体的な削減を実現するものとする。</p> <p>本事業は、もともと自立している医療福祉関係事業者のソフト面の強化を支援することで、高度なサービスの提供と、運営費の低下を実現するものであり、結果として地域医療福祉の自立性・自律性は高まるものとする。</p>	